



SEMINAR

学び、考える。

「いじる」を

「ひらめきをデザインする」

キックオフイベント

2015

JULY 4 SAT

JULY 5 SUN

2015

講師(ゲスト)

山野真悟 やまの・しんご
(黄金町バザール ディレクター)
1950年福岡生まれ。1978年よりIAF芸術研究室を主宰。1990年ミュージアム・シティ・プロジェクト事務局長に就任。「ミュージアム・シティ・天神」をはじめ「まちとアート」をテーマに、多数のプロジェクトをてがける。2008年より「黄金町バザール」ディレクター、翌2009年黄金町エリアマネジメントセンター事務局長に就任。現在に至る。平成26年度(第65回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

岩永 いわなが・ひとし
(株)キャナルエンターテインメントワークス 顧問
1989年アジア太平洋博覧会「ニュージーランド館」プロデュース、1995年夏季ユニバシアード福岡大会式典チーフプロデューサー等を経て、2002年株式会社キャナルエンターテインメント設立。「博多ライトアップウォーク」や「福岡城桜まつり」等のプロデュースをはじめ、福岡県内外の街中のイベントを多数手がける。

広川大八 ひろかわ・だいはち
(公財)福岡市文化芸術振興財団 専務理事
1954年福岡生まれ。九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒。福岡市職員として、総務企画局、住宅都市局、経済振興局等を経て、2014年度より(公財)福岡市文化芸術振興財団専務理事に就任。「ミュージアム・シティ・天神」をはじめ、都市開発の視点から多数のプロジェクトに関わる。

馬場正尊 ばば・まさたか
(株式会社オープン・エー 代表取締役/東京R不動産 ディレクター)
1994年早稲田大学大学院建築学科修了。(株)博報堂、雑誌「A」の編集長を経て、2003年OpenA Ltd.を設立。「東京R不動産」のディレクションを務める。東北芸術工科大学准教授。建築の近作には「親月橋団地」(2012)、「道頓堀角座」(2013)など。近著は「PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた」(学芸出版、2015)。

野田恒雄 のだ・つねお
(建築家/ TRAVELERS PROJECT(紺屋2023等) 主宰)
1981年京都市生まれ。1級建築士。東京都立大学(現首都大学)卒業。青木茂建築工房を経て、2005年にno.d+a設立。同年TRAVELERS PROJECT始動、活動中。冷泉荘や紺屋2023で、アーバンデザイン賞、福岡市都市景観賞、法政大学イノベティブポリシー賞。2014年より横浜市都市デザイン専門職を兼職。

藤 浩志 ふじ・ひろし
(美術家/十和田市現代美術館 館長/秋田公立美術大学 教授)
京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、バブアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て藤浩志企画制作室を設立。「ヤセ犬の散歩」「お米のカエル物語」「Vinyl Plastics Connection」「Kaekko」「藤島八十郎をつくる」等、各地で美術空間を作るデモンストレーションを実践。

花田伸一 はなだ・しんいち
(インディペンデント・キュレーター)
1972年福岡市生。北九州市立美術館学芸員を経て現在フリーランスとして九州芸文館ほかで企画を担当。主な企画「6th北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり」「千草ホテル中庭PROJECT」「街じゅうアートin北九州2012 ART FOR SHARE」。企画協力「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014」「釜山ビエンナーレ2014特別展」他。

講師(若手アートマネージャー)

生島国宜 いくしま・くによし
(画家)
2003年武蔵野美術大学卒業。絵画の他、パフォーマンス、インスタレーション、イベントオーガナイズ、展覧会企画なども行いながら絵画と美術を基にその周辺を模索している。2014年にはファッションブランドDiorの企画展「Esprit Dior」にて創業者Christian Diorの肖像画を委託制作。那珂川町在住。

斉藤昌平 さいとう・しょうへい
斉藤康平 さいとう・こうへい
共に(建築家/株)斎藤政雄建築事務所)
東区の菅松・箱崎を中心に活動。生業は建築設計で、住宅から公共、福祉施設まで様々なタイプの設計を行う。単に建物の図面を描くだけでなく「つくる」から「つかう」までがつかうような設計がしたいという思いと、住んでいる街のことを自分たちで考え、行動したいとの想いから、まちでのイベントや事業に取り組み。

三好剛平 みよし・ごうへい
(LOVE FM)
1983年福岡生まれ。ラフエフエム国際放送にて営業・企画、ウェブ、イベントなど担当。福岡市「まちなかアートギャラリー福岡」、「天神サイト」チーフ、「はかた伝統工芸館」主任など。業務外では「BOOKUOKA」「10zine」への運営参加ほか、シティリビング誌連載など、映画・音楽・アートと欲張り文化を摂取/発信中。

監修

森司 もり・つかさ
(アーツカウンシル東京)
1960年愛知生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京事業推進室事業調整課長。東京アートポイント計画の立ち上げから関わり、ディレクターとしてNPO等と協働したアートプロジェクトの企画運営、人材育成プログラムを手がける。

アドバイザー

宮本初音 みやもと・はつね
(アートコーディネーター/ART BASE 88)
1962年生まれ。福岡市在住。個人型アートセンター「ART BASE 88」代表。街なかのアートプロジェクトやアートマップ制作、海外交流事業などを企画。ミュージアム・シティ・プロジェクト、別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」、WATAGATA福岡釜山アートネットワークなど。

(公財)福岡市文化芸術振興財団では、地域で活動するアートマネージャーの人材育成と発掘、及びそのネットワーク化を目的とし、平成15年度よりアートマネジメントセミナーを開催しています。今年度は、「ひらめき(アイデア)」をアートマネジメントとして「デザイン」することをテーマに、本キックオフイベントと9月〜翌3月までの連続講座で構成します。(月1回、計7回予定)

キックオフイベントのテーマは、「いじる」。地域で、アートプロジェクトを含めたさまざまななかたちの表現活動が生まれている背景を探ると、誰かがそこにある何かを「いじる」ことで、既存の価値観が変換されたり、認識が拡張されている、ということに気がきます。この二日間、広義の意味でマネジメントの大先輩であるゲストの皆さんと、来る2020年を意識した次世代を担うアートマネージャーの皆さんとで、徹底的に「いじる」ことについて学び、考えます。

ART [いじる]を

キックオフイベント

FUKUOKA CITY FOUNDATION FOR ARTS AND CULTURAL PROMOTION

アートマネジメントセミナー「ひらめきをデザインする」

JULY 4 SAT 3つの「いじる」を学ぶ

これまで、ここではどんなことが起こってきたのか。福岡・九州を始め、全国規模でもさまざまなプロジェクトを「仕掛人」として動かしてきた方々をお招きし、3つのキーワードについてお話いただけます。複数の視点から、福岡ごとはない全国に偏在するテーマについて学びます。

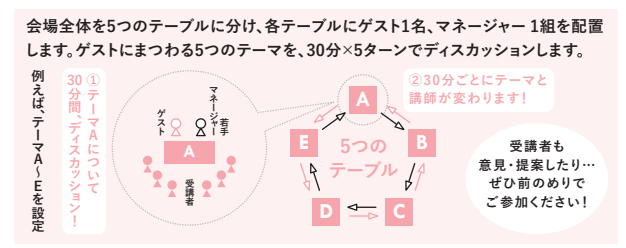
- [モデレーター] 森司(アーツカウンシル東京)
- [タイムテーブル]
 - 13:00-13:10 オープニング
 - 13:10-14:40 講座①「街をいじる」
1990年に始まり、都市型アートプロジェクトの先駆的事例となった「ミュージアム・シティ・天神」に関わった3人が、アーティスト、民間企業、行政のそれぞれの立場から語る、制作秘話に迫ります。
[講師] 山野真悟(黄金町バザール ディレクター) / 岩永一((株)C.E.ワークス 顧問) / 広川大八((公財)福岡市文化芸術振興財団 専務理事)
 - 14:55-16:25 講座②「建物をいじる」
公共R不動産を始め、次々に新しい「空間との付き合い方」を打ち出していくオープン・エー、そして福岡で建物再生プロジェクトを手がけるTRAVELERS PROJECT。建物のさまざまな可能性を追求するおふたりが、まちや文化との関係性について語ります。
[講師] 馬場正尊(株式会社オープン・エー 代表取締役 / 東京R不動産 ディレクター) / 野田恒雄(建築家 / TRAVELERS PROJECT(紺屋2023等) 主宰)
 - 16:40-18:10 講座③「場をいじる」
美術館や展覧会には、多様な関わり方があります。福岡を拠点に全国のアートシーンに立ち会うこと、そして地元のアーティストと向き合い、発表の機会を創っていくこと。アーティストにとって心強い存在であるおふたりが考える、場づくりと、関わり方とは？
[講師] 藤浩志(和田市現代美術館 館長 / 秋田公立美術大学 教授) / 花田伸一(インディペンデント・キュレーター)
 - 18:10-18:30 まとめ、クロージング

「いじる」を学び、考える。

いま、ここではどんなことが起こっているのか。福岡の、狭義の意味にとどまらない「アートマネジメント」の若手実践者と、5人のゲストによる1対1のディスカッションを行います。「ひらめき」を具体化するための5つのテーマに沿って、考え、デザインする感覚を身に付けます。
※当日、登壇者として参加するマネージャーを募集中！ 詳細は右記募集概要をご覧ください。 →

- [モデレーター] 森司(アーツカウンシル東京)
- [若手マネージャー] 生島国宜(画家) / 斉藤昌平・斉藤康平(建築家 / 斎藤政雄建築事務所) / 三好剛平(LOVE FM) / +2組の若手実践者(募集中！)
- [ゲスト] 藤浩志(和田市現代美術館 館長 / 秋田公立美術大学 教授) / 花田伸一(インディペンデント・キュレーター) / 馬場正尊(株式会社オープン・エー 代表取締役 / 東京R不動産 ディレクター) / 野田恒雄(建築家 / TRAVELERS PROJECT(紺屋2023等) 主宰) / 宮本初音(アートコーディネーター / ART BASE 88)

- [タイムテーブル]
 - 10:00-10:10 オープニング
 - 10:10-11:10 若手マネージャープレゼン①
 - 11:20-15:00 5つのテーブルで考える！(途中、昼休憩あり)



- 15:10-15:35 若手マネージャープレゼン②
 - 15:35-15:55 ゲスト&モデレーターコメント
 - 15:55-16:00 まとめ、クロージング
- 終了後、同会場にて簡単な交流会を予定しております。(17:00終了予定)
※内容は一部変更になる場合がございます。

受講者 & 登壇者 募集！

- 企画概要**
- [日時] 2015年7月4日(土)13:00-18:30
7月5日(日)10:00-17:00
- [参加費] 2日通し3,000円 / 1日のみ2,000円
※2日通し受講でのお申込みを優先します。
- [定員] 30名(要事前申込)
- [対象] アートマネージャー(経験不問)
アートマネジメントや文化芸術に興味のある人
- [監修] 森司(アーツカウンシル東京)
- [アドバイザー] 宮本初音(アートコーディネーター / ART BASE 88)
- [会場] 福岡市赤煉瓦文化館
〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目15-30
地下鉄「天神駅」下車 徒歩7分 / 西鉄バス「市役所北口」下車すぐ



[申込み方法] 件名を「AMS2015参加申込み」とし、①氏名(ふりがな)、②年齢、③ご所属、④電話番号、⑤活動分野や興味のある分野(ジャンル)、⑥通し受講でない方は参加希望日時を明記のうえ、FAX・メールのいずれかでお申込みください。
(こちらから受付完了のメールを返信いたします。お申込み後平日3日を過ぎても受付完了メールが届かない場合は、お手数ですがお電話にてご確認ください。)
※定員になり次第、応募を締め切ります。ただし、空きがある場合は当日参加も可能です。

申込み者の中から…7月5日(日)の講座に登壇者として参加するアートマネージャー募集中！

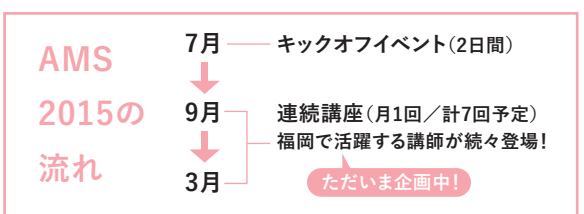
九州エリアを中心に、現在現場に携わっており、登壇予定の若手マネージャーと同じ立場で議論したい方、疑問を投げかけたい方、自分の現場をどうにかしたいと思っている方などなど…この機会にぜひご応募ください。

[応募資格] ①九州在住で、アートマネジメントの現場に携わっている方、携わる予定の方(個人、団体共に可) ②7月4日(土)、5日(日)の開催されるキックオフイベントに全日程参加できること
※メンバー構成、国籍、年齢、性別、マネジメントの分野等は問いません。
※未成年者の応募にあたっては、保護者の方の承諾が必要となります。

[参加費] 無料(講座への参加費も無料となります。)

[応募方法] 下記ウェブサイトから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、件名を「AMS2015 登壇応募」とし6月19日(金)17時までにメールでお申込みください。別途、参考資料などの添付も可能です。
※選考の結果、該当者なしの場合がございます。
※詳細、最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

[結果発表] 募集期間締切後にAMSアドバイザーによる選考を行い、6月23日(火)に応募者全員へ審査結果をメールで通知いたします。



※プログラム内容・講師などは、諸事情により変更する場合があります。

お問合せ・申込み
(公財)福岡市文化芸術振興財団(担当:猪股、後藤)
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-10 福岡県消防会館6F
TEL: 092-263-6300 / FAX: 092-263-6259
MAIL: plan@ffac.or.jp
ウェブサイト: <http://www.ffac.or.jp/>

[主催] 福岡市文化芸術振興財団、福岡市
[助成] 一般財団法人 地域創造